

V 保 健 衛 生

V 保健衛生

1 感染症予防

(1) 感染症患者発生状況

平成11年4月より伝染病予防法が廃止され、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律が施行された。新しい法律に基づいて予防措置を適用する場合には、人権に配慮し、必要最小限にすることとし、プライバシーに対して、最大限の配慮をすることとされている。

2・3類感染症年次別発生件数（結核は除く）

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
総 数	5	1	6	5	8
急性灰白髄炎	—	—	—	—	—
コレラ	—	—	—	—	—
細菌性赤痢	—	—	1	1	2
ジフテリア	—	—	—	—	—
腸チフス	—	—	—	—	1
パラチフス	—	—	—	—	—
腸管出血性大腸菌	5	1	5	4	5

*保健師は随時、感染症に対し疫学調査訪問や相談・指導等を行っている。

訪問指導	面接相談	電話相談	文書等連絡	関係機関連絡
39	3	92	30	14

(合计数についてはP.124 ア.家庭訪問等の件数の再掲)

(2) 患者発生時保菌者検索

病原体を保菌している者（保菌者）に対する検便、および、下痢、腹痛、発熱などの自覚症状がなく、健康者と外見上変わらないが、病原体を保菌している者からの感染予防を目的に感染症患者の家族等を対象に検便を行なっている。

検査の対象		検査件数	陽性数
総 数		34	0
感染症患者 及び 関係者等	赤 痢	9	0
	腸チフス	8	0
	パラチフス	0	0
	コレラ	2	0
	腸管出血性大腸菌	13	0
	そ の 他	2	0

(3) 予防接種

予防接種法により一定の年齢に達した者に対して、ジフテリア・百日せき・破傷風・急性灰白髄炎（ポリオ）・麻しん・風しん・日本脳炎の予防接種を実施している。平成13年度から高齢者のインフルエンザ予防接種が加わった。

また、麻しん対策で平成20年度から5年間限定で中学1年・高校3年相当の年齢を対象に、MRの予防接種が加わった。

定期予防接種実施状況

種 別			平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
			交付	実績	交付	実施	交付	実施	交付	実施	交付	実施
D P T 三 種 混 合	I 期 初 回	1回目	1,040	(2) 923	1,407	1,036	1,251	1,050	1,239	1,066	1,197	1,030
		2回目	1,040	(2) 888	1,407	1,004	1,251	1,050	1,239	1,061	1,197	1,037
		3回目	1,040	(1) 895	1,407	965	1,251	1,039	1,239	1,054	1,197	1,037
	I期追加	1,134	(1) 814	1,077	(1) 744	1,106	855	1,227	984	1,195	972	
D T II 期 (二種混合)			769	377	1,161	378	1,094	454	1,035	571	1,060	567
ポリ オ	1回目	1,113	(12) 1,006	1,212	1,057	1,245	1,174	1,264	1,202	1,225	1,111	
	2回目	1,092	(10) 1,037	1,119	1,045	1,191	1,113	1,253	1,180	1,248	1,042	
M R	I期			1,122	847	1,191	985	1,258	985	1,252	990	
	II期			1,056	587	1,054	705	1,070	792	1,109	876	
	III期							1,092	651	1,032	788	
	IV期							1,099	557	1,127	632	
麻 し ん	I期	893	(3) 931	6	6	1	1					
	II期					4	4		1			
	III期								1			
	IV期								1		2	
風 し ん	I期	971	(3) 1,563	45	45	9	9		1			
	II期			7	7	6	6					
	III期								1		1	
	IV期								5		2	

日 本 脳 炎	I 期 初 回	1 回目	—	(1) 201	7	7	34	34	98	98	238	238
		2 回目	—	163	5	5	36	36	97	97	184	184
	I 期追加		—	152	5	5	13	13	16	16	41	41
	II 期		1,049	200	6	6	11	11	14	14	9	9
	III 期		275	82			—	—	—	—	—	—
	インフルエンザ		38,668	17,002	39,026	16,006	39806	17,765	40,665	18,710	41,462	18,086

- ※ DPT（三種混合）はジフテリア・百日せき・破傷風混合
- ※ DT（二種混合）はジフテリア・破傷風混合
- ※ 風しん経過措置は平成15年9月で終了。
- ※ 日本脳炎は平成17年5月から原則中止。ただし、III期は平成17年7月で廃止。
- ※ MRは麻しん風しん混合。平成18年4月から開始。麻しん及び風しん単抗原は原則中止
- ※ 風しんI期欄は平成17年度までは幼児の、II期欄は経過措置の数値。
- ※ （ ）内数値は、予診のみを別掲

定期外予防接種（区単独事業）実施状況

種 別	対 象	実 施 件 数
麻しん風しん混合	2歳～2期に該当する前日	9
麻しん	2歳～2期に該当する前日	0
風しん	2歳～2期に該当する前日	1
小児インフルエンザ	1歳～15歳（中学3年生）	14,263
高齢者肺炎球菌	65歳以上	4,937

- ※ 小児インフルエンザは平成19年度から開始、平成20年度から対象拡大。
- ※ 高齢者肺炎球菌は平成21年度から開始。

2 結核予防

(1) 結核

全国的に結核は減少の傾向にあるが、本区における新登録患者数及びり患率は、国及び都に比べて依然として高い状況にある。また、重症化(喀痰塗抹陽性)してからの発見率が高いのも特徴で、接触者健診が大切となっている。合併症のある高齢者や住所不定者の患者登録が多いことから患者支援が重要となっている。また、重症化する前に発症者を発見するために、今後は定期的な健康診断の受診を呼びかけていく必要がある。なお、登録患者数は下表のとおりである。

<登録患者数>

(ア) 総数

(平成21年12月31日現在)

	総数	活動性結核										潜在性結核感染症(別掲)		非結核性抗酸菌症		
		総数	肺結核活動性							肺外結核活動性	不活動肺結核	活動性不明	治療中	観察中	治療中	観察中
			総数	登録時喀痰塗抹陽性		登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性・その他	初回治療	再治療							
				総数	初回治療											
総数	254	74	69	37	34	3	16	16	5	151	29	8	16	0	0	
男	201	56	55	32	29	3	10	13	1	124	21	2	12	0	0	
女	53	18	14	5	5	0	6	3	4	27	8	6	4	0	0	
0~4歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	
5~9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10~14歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15~19歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
20~29歳	14	4	3	1	1	0	2	0	1	9	1	2	2	0	0	
男	5	1	1	0	0	0	1	0	0	4	0	0	1	0	0	
女	9	3	2	1	1	0	1	0	1	5	1	2	1	0	0	
30~39歳	22	8	8	1	1	0	3	4	0	9	5	2	6	0	0	
男	12	5	5	1	1	0	1	3	0	5	2	0	5	0	0	
女	10	3	3	0	0	0	2	1	0	4	3	2	1	0	0	
40~49歳	25	7	6	4	4	0	2	0	1	15	3	2	3	0	0	
男	17	6	5	4	4	0	1	0	1	10	1	1	2	0	0	
女	8	1	1	0	0	0	1	0	0	5	2	1	1	0	0	
50~59歳	51	19	19	14	11	3	2	3	0	28	4	2	1	0	0	
男	49	18	18	14	11	3	1	3	0	27	4	1	1	0	0	
女	2	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	
60~69歳	76	19	19	7	7	0	6	6	0	47	10	0	2	0	0	
男	72	17	17	6	6	0	6	5	0	45	10	0	2	0	0	
女	4	2	2	1	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	
70歳以上	64	17	14	10	10	0	1	3	3	41	6	0	0	0	0	
男	46	9	9	7	7	0	0	2	0	33	4	0	0	0	0	
女	18	8	5	3	3	0	1	1	3	8	2	0	0	0	0	
80歳以上(再掲)	25	8	6	4	4	0	1	1	2	14	3	0	0	0	0	
男	15	3	3	3	3	0	0	0	0	10	2	0	0	0	0	
女	10	5	3	1	1	0	1	1	2	4	1	0	0	0	0	
年齢不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(イ)登録患者数〔現在時総合患者分類コード・受療状況別〕

(平成21年12月31日現在)

	総数	活動性結核								肺外結核 活動性	不活動性結核	活動性不明	
		総数	肺結核活動性						登録時 その他 結核菌 陽性				登録時 菌陰性 ・ その他
			総数	登録時喀痰塗沫陽性			登録時 その他 結核菌 陽性	登録時 菌陰性 ・ その他					
				総数	初治	回療							
総数	254	74	69	37	34	3	16	16	5	151	29		
受療状況	入院中	35	35	31	23	20	3	1	7	4	0	0	
	外来 治療中	36	36	35	14	14	0	12	9	1	0	0	
	治療なし	177	0	0	0	0	0	0	0	0	151	26	
	不明	6	3	3	0	0	0	3	0	0	0	3	

(ウ)登録患者数〔保険の種類・受療状況別〕

(平成21年12月31日現在)

	総数	被保険者		国民健康保険				後高 期齢	生保 活護	その他	不明
		本人	家族	一般	退本	職人	退家				
総数	254	25	12	50	5	0	30	129	2	1	
受療状況	入院中	35	0	0	4	0	0	7	24	0	0
	外来 治療中	36	7	2	12	1	0	4	10	0	0
	治療なし	177	16	10	33	4	0	19	93	2	0
	不明	6	2	0	1	0	0	0	2	0	1

(エ)新登録患者数〔登録時総合患者分類コード・性別・年齢階級別〕

		活 動 性 結 核								潜在性結核感染症(別掲)	非定型抗酸菌陽性(別掲)				
		総数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性			治療中	治療中		
			総数	登録時喀痰塗沫陽性			登録時 その 他の結核 菌陽性	登録時 菌陰性 ・ その他						治療中	治療中
				総数	初回 治療	再治療									
総数	総数	110	102	46	42	4	26	30	8	13	0				
	男	85	81	39	35	4	17	25	4	5	0				
	女	25	21	7	7	0	9	5	4	8	0				
0～4歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0				
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0				
5～9歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
10～14歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
15～19歳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
20～29歳	総数	5	5	1	1	0	2	2	0	3	0				
	男	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0				
	女	4	4	1	1	0	1	2	0	2	0				
30～39歳	総数	10	10	3	3	0	3	4	0	4	0				
	男	6	6	2	2	0	1	3	0	1	0				
	女	4	4	1	1	0	2	1	0	3	0				
40～49歳	総数	9	7	5	5	0	2	0	2	2	0				
	男	8	6	5	5	0	1	0	2	1	0				
	女	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0				
50～59歳	総数	25	24	14	10	4	5	5	1	2	0				
	男	24	23	14	10	4	4	5	1	1	0				
	女	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0				
60～69歳	総数	31	29	7	7	0	10	12	2	1	0				
	男	28	27	7	7	0	9	11	1	1	0				
	女	3	2	0	0	0	1	1	1	0	0				
70歳以上	総数	30	27	16	16	0	4	7	3	0	0				
	男	18	18	11	11	0	1	6	0	0	0				
	女	12	9	5	5	0	3	1	3	0	0				
80歳以上 (再掲)	総数	13	12	7	7	0	3	2	1	0	0				
	男	5	5	4	4	0	0	1	0	0	0				
	女	8	7	3	3	0	3	1	1	0	0				
年齢不詳	総数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

(平成21年1月1日～平成21年12月31日の新規登録者数)

(2) 医療費公費負担

①一般患者に対する公費負担

結核患者に対し感染症診査協議会の意見を聞いた上で、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第37条の2に規定する医療を受けるための費用について、95%（医療保険各法を先に適用）を公費で負担する。

・一般医療〔法第37条の2〕

区 分	申請件数	承認件数
総 数	155	153

②勧告入院に対する公費負担

活動性感染症の結核患者に対し同法第18条により従業を禁止し、同法第19条により結核療養所に入院した場合において、同法第37条に規定する費用について全額（医療保険各法を先に適用）を公費で負担する。ただし世帯の収入状況により、自己負担額が生じる場合がある。

・勧告入院〔法第37条〕

区 分	申請件数	承認件数
総 数	118	118

(3) 乳幼児健診

3～4か月児健診時に、BCG予防接種を行っている。

区 分	接種者数
総 数	1,212
台 東	491
浅 草	721

(4) 一般結核健診

定期的に健康診断を受ける機会のない区民を対象とした健康診断の中で、胸部レントゲン検査を行っている。

区 分	受診者数	X線間接	X線直接	所見なし	所 見 あ り				要精密
					治癒所見	異常陰影	心拡大	その他	
総合健診(65歳以上)	17,530	-	17,530	10,910	2,459	213	1,421	2,375	152

(5) 商店・小事業所結核検診

区内にある従業員10人未満の事業所で働く人や、結核の感染、発病が心配な人について、胸部レントゲン撮影を行っている。

区 分	受診者数	異常なし	治癒所見	要精密
総 数	2	2	-	-

(6) 定期外結核健診

結核を感染させる恐れのある患者と同居する人、同居していた人等、感染の可能性のある人を対象に健診、指導等を行い、患者の早期発見を目的としている。

また、学校、職場等の集団生活の場で結核患者が発見された場合においても、患者と接触があったと思われる人を把握し、健診、指導等を行っている。

区 分	受診者数	X線直接	X線間接	喀痰検査	ツベルクリン 反応	異常なし	所 見 有			初感染 結 核
							治癒所見	要観察	要精密	
総 数	420	420	-	-	11	360	61	-	11	-
患者家族	59	59	-	-	8	51	15	-	2	-
接触者	361	361	-	-	3	309	46	-	9	-

(7) 管 理 健 診

再発者の早期発見を目的として、経過観察者・治療中断者を対象に健診と指導を行っている。

結核患者として登録されると、医療の必要がなくなっても、おおよそ2年間の経過観察を行う。

区 分	受診者数	X線直接	喀痰検査	異常なし	所 見 有		
					治癒所見	要観察	要精密
総 数	71	71	-	15	55	-	1

(8) 重点地区結核検診〔結核対策特別促進事業〕

主に山谷地区労働者を対象に、玉姫労働出張所前で年3回(北部地区検診)、城北・労働福祉センター前で年2回(早朝検診)、レントゲン車を派遣し、胸部レントゲン撮影を行っている。

区 分	受診者数	X 線 結 果			要 精 密 受 診 者					
		異常なし	治癒所見	要精密	異常なし	治癒所見	経過観察	要治療	結核外	不 明
総 数	119	93	22	4	-	-	-	2	-	2
北部地区	60	50	8	2	-	-	-	1	-	1
早 朝	59	43	14	2	-	-	-	1	-	1

(9) 路上生活者結核検診〔結核対策特別促進事業〕

区内住所不定者を対象に、上野・隅田公園にCR車を派遣し、胸部レントゲン撮影を行っている。

区 分	受診者数	異常なし	治癒所見	経過観察	要精密
総 数	57	41	7	2	7

要精密について1名は入院、他の2名は不明。

(10) 日本語学校留学生結核検診〔結核対策特別促進事業〕

区内にある日本語学校(6校)に在学する学生を対象に、胸部レントゲン撮影を行っている。

区 分	受診者数	異常なし	治癒所見	要精密
総 数	1,050	1,040	-	10

結果は、各学校に通知し、要精密者について、受診を指導してもらっている。

(11) 保健指導

結核担当保健師は結核登録患者に対して療養指導と、接触者に対して健康診断を行っている。平成17年度からはDOTS(直接監視下化学療法)を導入し、治療中断の防止と不規則な服薬による薬剤耐性結核の予防に重点をおいている。特に、治療継続が困難な簡易宿泊所等の宿泊者や路上生活者に対しては城北労働福祉センターや福祉事務所と連携を十分にとりながら、治療完了できるように指導を行っている。

接触者健診では、発病者の早期発見と結核感染者の将来の発症を防ぐための化学療法を早期に導入するための検査に重点をおいている。

区分		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
訪問		1,137	565	684	883
所内相談	面接相談	1,240	1,831	978	632
	電話相談	1,117	1,281	566	477
	その他・文書	921	753	874	835
関係機関連絡	保健関係	169	267	79	109
	医療関係	188	208	106	161
	福祉関係	239	463	132	163
	その他	40	36	12	6

(合计数についてはP.124 ア.家庭訪問等の件数の再掲)

3 エイズ対策

エイズについての知識の普及・啓発及び相談、抗体検査などの事業を行っている。
 なお、平成18年4月より、HIVの即日検査を実施している。

(1) 検査相談件数

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
来 所 相 談	258	751	945	874	940
抗体検査(再掲)	188	540	669	611	647
陽性数	0	1	1	2	5
電 話 相 談	33	54	87	36	53

(2) 講演会等

内 容	対 象	回 数	人 数
講 演 会	中・高等学校生徒	4	824

(3) 啓発活動

世界エイズデーキャンペーン、成人の集い等でポスター展示およびリーフレットやポケットティッシュ等の配布を行った。

4 性感染症予防

平成11年4月に伝染病予防法、エイズ予防法とともに性病予防法が廃止され、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律が施行された。新しい法律に基づく特定感染症対策として、希望者に対し、HIV抗体検査と同時に梅毒、クラミジアの検査を行っている。

梅毒検査実施状況

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
検 査 者 数	167	364	440	403	424
陽 性 数	2	0	1	2	4

クラミジア検査

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
検 査 者 数	167	364	436	396	421
I g A 抗体 陽 性 数	35	70	84	64	82
I g G 抗体 陽 性 数	44	93	116	107	117